

狛江市学習状況調査結果

担当 5年 高橋 美幸 6年 黒田 和城

4月11日(火)に狛江市独自で学力調査を行いました。5・6年生対象に国語・算数の2教科について調査を実施しました。結果と分析は以下の通りです。(表の数字は正答率です。)

国語

☆5年生の集計結果<全体の偏差値50.0>

正答率	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
校内	54.7	51.8	61.1
全国	57.5	53.1	57.1

☆分析

「読むこと」は、全国の正答率を大きく上回っていました。逆に「話すこと・聞くこと」と「書くこと」は、全国の正答率を下回っていました。「話すこと・聞くこと」では、特に「情報を選び構成を考えて話す」ことへの正答率が特に低いため、伝える事柄を整理して話したり、工夫して話したりすることができる活動を取り入れ、指導していきます。「書くこと」では、「文章を整え感想や意見を伝え合う」ことへの正答率が特に低いため、その場に合った文章の書き方の例を示したり、事実と感想、意見などを区別して書くことを意識させたりして指導していきます。

☆6年生の集計結果<全体の偏差値50.7>

正答率	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
校内	61.8	68.7	64.6
全国	61.7	66.1	63.0

☆分析

全領域において全国の正答率を上回りました。その中で、「目的に応じて話の内容をとらえる」内容は高い正答率でしたが、「話し合い考えをまとめる」内容の正答率が低い結果となりました。これまでに培ってきた、自分の意見や考えを伝え合う話し合い活動、タブレット型端末機を使って共有し合う活動を軸に、互いの意見や考えを分類したり、整理したりしながら話し合いを進め、考えをまとめることができるように指導していきます。また、他の教科でも話し合い活動を効果的に取り入れていきます。

算数

☆5年生の集計結果<全体の偏差値50.3>

正答率	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
校内	65.2	52.6	63.3	57.9
全国	63.7	54.9	64.5	52.5

☆分析

「データの活用」は、全国の正答率を大きく上回っていました。逆に「図形」と「変化と関係」は、全国の正答率を下回っていました。「図形」では、「角の大きさ」や「面積の単位換算」についての正答率が特に低いため、三角定規を使用するとき角度の確認も併せて行うことや、面積に限らず様々な単位についての感覚が豊かになるよう単位換算を繰り返し指導していきます。また「変化と関係」では、伴って変わる2つの量を文章から読み取ったり表や式に表したりすることへの正答率が低いため、文章問題や表から情報を正確に読み取ることができるよう、板書だけでなく具体物で示すなどして指導していきます。

☆6年生の集計結果<全体の偏差値53.9>

正答率	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
校内	70.2	69.4	65.4	64.5
全国	65.3	62.9	56.9	54.9

☆分析

全領域において高い正答率が見られ、全国の正答率を上回りました。苦手な分野を内容別に見ていくと、「単位量当たり・速さ」が最も正答率が低く、次いで「整数と小数のしくみ」でした。目的に応じて大きさを比べて表現することや、小数点の位取りが正確にできていないことが原因と考えられます。小数や分数について、線分図や面積図で表し、具体的なイメージを掴ませるような工夫をしていきます。また、単位量あたりの大きさを日常生活と結び付けながら理解を深められるよう指導していきます。

ハケ岳移動教室 5年生

担当 上月 航

7月25日～7月26日にハケ岳移動教室に行ってきました。普段学校では体験することのできない、貴重な経験をすることができた楽しい2日間になりました。

1日目は、大正館でのほうとう作りと美しの森のハイキングを行いました。暑さや、険しい道のりなど困難な状況にも、みんなで励ましの声を掛け合い目的地に到着することができました。絶景を見るとともに、達成感を味わいました。夜はキャンプファイヤーを行い、ダンスや歌、ゲームなどをして大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

2日目は、サンメドウズと名水公園「べるが」に行きました。サンメドウズではお土産を購入しました。何を買おうかと真剣に悩む姿が微笑ましかったです。名水公園「べるが」では、川遊びを行いました。滝に打たれたり、隣接するスライダーを滑ったりと、冷たい水で気持ちをリフレッシュさせて体全体で自然を満喫しました。

移動教室での2日間、仲間と協力する大切さを学び、自分の力で最後までやり抜く力を身に付けることができました。今回学んだことを生かし、今後の学校生活でも、学級や学年のためにできることを考えて行動できるよう指導していきます。